

市民病院だより

訪問看護とは

訪問看護ステーションおぎ

管理者 永渕 智寛

自宅で安心して過ごしたい人たちの思いを支えるため、平成27年4月より訪問看護ステーションとして規模を拡大しました。

訪問看護ステーションとは

ステーションになることで、24時間365日、在宅で看護を受けることができるようになりました。夜間や休日などは訪問看護師が24時間直通の電話を所持しています。相談や困ったこと、緊急訪問などさまざまな状況に対応しています。

持病を抱えながらの生活や高齢化に伴う社会問題など、退院後自宅へ帰るときに不安を感じる人も多くいます。患者や家族の思いに寄り添い支えるために不安を解消し、安心して自宅で

過ごせるように訪問看護を行っています。

人生の最期はご自宅

最期を迎える場所はご自身か尋ねると、「家族に見守られながら自宅で迎えたい」、「周りの人に迷惑を掛けないでいいように施設や病院で迎えたい」など、人それぞれの希望があります。

歩んできた人生がそれぞれあるように、最期を迎える姿も違います。そんな思いを支えるための一つのサービスとして訪問看護があります。

オーダーメイドのサービス

医療、介護、訪問は利用者が自由に選択できるサービスです。

しかし、実際にはどのようなサービスがあるのか、どのサービスを利用すればいいのか分からない人が多くいます。

例えば、食事のメニューを考えると、肉屋や魚屋、八百屋

などの各分野から材料を調達して組み立てると同じように在宅生活に必要なサービスを利用するイメージです。

昨年、医師会から『知ってほしい在宅医療』というパンフレットを全戸配布していますので参考にしてください。



▲『知ってほしい在宅医療』

医療相談窓口

医療相談窓口として、

- ・江口病院
- ・ひらまつ在宅療養支援診療所
- ・小城市民病院

があります。サービスを利用する前に気軽にご相談ください。

自分が必要だと思うサービスを選択していただき、より自分らしく生きていくために利用していただければと思います。



小児科だより

溶連菌感染症

溶血性レンサ球菌による感染症で、のどの痛みが強く、発熱や腹痛、嘔吐を伴うこともあります。また、約2割の人に全身に発疹がみられます。5〜12歳に多くみられますが、成人でもうつることがあります。潜伏期は1〜3日で、のどの迅速検査やのどの培養で診断されます。治療としては、除菌するために抗菌剤を約10日間内服します。また、合併症として多い急性腎炎を起こしていないか、3〜4週間後に尿検査をしましょう。

適切な抗菌剤を飲み始めて24時間以上たてば周りにうつさないで、登園・登校は大丈夫です。

抗菌剤を飲んでも熱が下がらないときや、のどが痛くて水分が取れないときは早めに受診しましょう。



お知らせ

毎月第3水曜日の午前中に佐賀大学医学部附属病院の消化器内科 藤本教授の胃カメラ検査を実施しています。藤本教授の検査を希望される場合は事前にお問い合わせください。

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>